

2級 学科試験問題

1. 試験時間 60分

2. 問題数 50題 A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）の50題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入します。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入します。
 - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。
- (11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後30分間は退出できません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. 建築物に付着する異物は、汚れとごみに区別される。
2. 事務所衛生基準規則に定められている室内の作業面の明るさには、普通の作業と精密な作業の2種類のみである。
3. 洋風建築の床の板張り仕上げをフローリングまたはフローリングボードという。
4. モップリンガーはモップを絞る道具であり、その形状にT字型などがある。
5. 界面活性剤は、物質の表面張力を低下させる成分である。
6. 作業計画は、工程の細部まで定期的に点検し、ムダを排除し、常に効率的なものとする。
7. 都市における建築物や地下街ではクマネズミが多い。
8. 1級ビルクリーニング技能士の資格を持っていれば、建築物環境衛生管理技術者の資格者としても認められる。
9. フロアーシーラーは、硬質床の目止め（シール）に使われる。
10. 自動床洗浄機は小回りがきくので隅や曲がり角まで洗浄できる。
11. 建築物の入口に適当なマットを置くと、靴によって持ち込まれるほこりの侵入を防止することができる。
12. ほうきの掃き方で「さらえ掃き」はほうきの穂先を浮かすようにして掃き、大きなごみだけを取る方法である。
13. 酸性洗剤と塩素系漂白剤は、混用してはならない
14. 繊維系床のオフレーション方式とは、汚れたタイルカーペットをきれいなものに入れ替えるとともに、汚れたタイルカーペットを別の場所で洗浄することをいう。
15. 床面と壁面の接合部で壁面側の立ち上がり部分を保護する目的で、取り付けた仕上げ材の部分を幅木という。
16. 床面の汚れ具合に応じて区域を分け、区域ごとの特徴を考慮して清掃方法などを考えることをゾーニングという。

17. ごみの収集回数は、みだりに多くせず、週 1~2 回を普通とする。
18. 労働災害の原因は、物的原因と人的原因がある。
19. 床維持剤の塗布は予防清掃の有力な手段である。
20. ヘパフィルター付き高性能型真空掃除機は衛生上の利点が多いので病院や計算センターなどで使用されている。
21. 労働災害は、人身の傷害の程度によって、疾病、休業、不労災害に分けられる。
22. RC 造とは、鉄骨鉄筋コンクリート造のことである。
23. リノリウムは、アルカリ性の洗剤を使用すると変色する場合がある。
24. 延べ面積が 3,000 m²以上の建築物は、すべて「特定建築物」である。
25. 一般に標準作業時間は、主体作業時間と除外時間とからなる。

■ B群（多肢選択法）

1. 建築物清掃の4つの目的のうち、最も適切でないものはどれか。
 - イ 衛生的環境の確保
 - ロ 美観の向上
 - ハ マナーの向上
 - ニ 安全の確保

2. 汚れの原因の組み合わせとして最も適切でないものはどれか。
 - イ 人為的原因・・・ 衛生害虫による汚れの発生
 - ロ 自然的原因・・・ 降雨による汚れの発生
 - ハ 人為的原因・・・ 手アカ・抜け毛による汚れの発生
 - ニ 自然的原因・・・ 粉じん・炭素粒子による汚れの発生

3. 湿式モップとして使用しないものはどれか。
 - イ T字モップ
 - ロ ワンタッチモップ
 - ハ フラット型モップ
 - ニ ダストクロス型モップ

4. カーペット用洗剤の特性として、最も適切でないものはどれか。
 - イ 高起泡性・泡の持続性
 - ロ 強い芳香性
 - ハ べとつきのない粉末化
 - ニ 早い乾燥性

5. 外装仕上げ材のうち、金属系でないものはどれか。
 - イ アルミニウム
 - ロ ステンレススチール
 - ハ 鋼板
 - ニ セラミックタイル

6. 階段の構造名称で適切なものはどれか。
 - イ ノンスリップ
 - ロ パネル
 - ハ デッキボード
 - ニ ランディングプレート

7. 床維持剤の分類で最も適切でないものはどれか。
 - イ フロアードライ
 - ロ フロアーオイル
 - ハ フロアーシーラー
 - ニ フロアーポリッシュ

8. スイッチを入れてもポリッシャーのモーターが回転しない原因として、適切なものはどれか。
- イ コードの絶縁不良
 - ロ オイルシールの不良
 - ハ プラグの不良
 - ニ キャスターの不良
9. 床の日常清掃として、最も適切でない作業はどれか。
- イ 除塵作業
 - ロ 拭き取り作業
 - ハ 表面洗浄作業
 - ニ バフ掛け作業
10. ビルクリーニングの五原則ではない項目はどれか。
- イ 安全衛生の知識
 - ロ 保護膜の知識
 - ハ 作業方法の知識
 - ニ 建材の知識
11. 繊維系床材の定期的なクリーニング技法として適切でないものはどれか。
- イ ポリッシャー方式
 - ロ ドライフォーム方式
 - ハ スチーム方式
 - ニ ダストコントロール方式
12. 床維持剤を塗布する目的として、最も適切でないものはどれか。
- イ 汚れの付着を防ぐ
 - ロ 歩行性を高める
 - ハ 床材を保護する
 - ニ 美観を高める
13. 建築物内の日常清掃としては、考えられていない作業はどれか。
- イ 壁面・柱の高所部分の清掃
 - ロ 出入口マットの除じん
 - ハ 紙くず処理
 - ニ 家具、調度品のほこり取り
14. 洗剤の注意点として、最も適切でないものはどれか。
- イ リン酸塩の添加された洗剤を使用する
 - ロ 計量カップを用いて適正な濃度として使用する
 - ハ 希釈には 40℃程度の温水を使用する
 - ニ 洗浄後のすすぎとして、水拭きでは清水を使用する

15. ごみの収集に関する留意すべき事項として、最も適切なものはどれか
- イ 収集作業はビルが稼働中に行う
 - ロ 収集回数は1日3~5回行う
 - ハ 収集容器は固定式の物を使う
 - ニ ごみの収集は分別収集して行う
16. 循環型社会の促進のための取り組みで、3Rとして適切でないものはどれか。
- イ リサイクル
 - ロ リユース
 - ハ リターン
 - ニ リデュース
17. 床維持剤の樹脂皮膜の長所として、最も適切でないものはどれか。
- イ 皮膜が強じんである
 - ロ 耐久性がよく、長時間塗り直す必要がない
 - ハ 光沢を出すためには、磨く必要がある
 - ニ ほこり、汚れの拭き取りが容易である
18. 脚立の使用について最も適切なものはどれか
- イ 開き止め金具を確実にかける
 - ロ 天板に両足で立つ
 - ハ 脚と水平面の角度は90度とする
 - ニ 脚立をまたいで乗る
19. 転倒災害防止に関する記述で、最も適切でないものはどれか。
- イ 床面と足の裏の摩擦係数を小さくする
 - ロ すべりにくい作業靴を着用する
 - ハ 歩行動線の確保をする
 - ニ ドライ方式作業技法を実施する
20. アップライト型真空掃除機の部品名称で適切でないものはどれか。
- イ ブロワーモーター
 - ロ フロート
 - ハ ブラシモーター
 - ニ パワーブラシ
21. 清掃四区域で適切でないものはどれか。
- イ 共用区域
 - ロ 専用区域
 - ハ 屋上・地下区域
 - ニ 管理用区域

22. 次のカーペットのうち、パイルのないカーペットはどれか。

- イ ウイルトンカーペット
- ロ ニードルパンチカーペット
- ハ アキスミンスターカーペット
- ニ ダブルフェースカーペット

23. 各種ビルごみの種類と排出比による記述として最も適切なものはどれか。

- イ オフィスビルからは、生ごみが約 20%発生する
- ロ 店舗ビルからは、生ごみが約 20%発生する
- ハ ホテル・結婚式場からは生ごみが約 20%発生する
- ニ 医療機関からは生ごみが約 20%発生する

24. ビルの汚れ物質で、植物性でないものはどれか。

- イ 紙類の摩耗粉
- ロ ビニールレザーの摩耗粉
- ハ 木材粉
- ニ タバコの粉

25. 次のブラシパッドの使用方法について、最も適切でないものはどれか。

- イ ナイロンブラシ・・・ 一般的な汚れに使用
- ロ シダブラシ・・・ コンクリートや鉄板など重度の汚れに使用
- ハ 黒パッド…………… 剥離洗浄に使用
- ニ 白パッド…………… バフ作業に使用

2級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	誤
3	正
4	誤
5	正
6	正
7	正
8	誤
9	正
10	誤
11	正
12	正
13	正
14	正
15	正
16	正
17	誤
18	正
19	正
20	正
21	誤
22	誤
23	正
24	誤
25	誤

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	ハ
2	イ
3	ニ
4	ロ
5	ニ
6	イ
7	イ
8	ハ
9	ハ
10	イ
11	ニ
12	ロ
13	イ
14	イ
15	ニ
16	ハ
17	ハ
18	イ
19	イ
20	ロ
21	ハ
22	ロ
23	イ
24	ロ
25	ロ